

# 卒業後の私

田橋 輝之 (平成25年3月 文学部史学・文化財学科卒業)

## 1. 非常勤講師、常勤講師の経験から

別府大学の教職課程を履修し、中学社会と高校地理歴史、高校公民の教員免許を取得しました。大学卒業後、教育事務所から連絡をいただき、非常勤講師として中学校と高校をかけもちで勤務しました。2年目以降は中学校、そして小学校で常勤講師として勤務しました。小・中・高すべての教壇に立ち、そこではたくさんのお子どもたちや尊敬できる先生方との出会いがありました。初めは、自分が講師という立場に自信をもてない部分があり、態度に出てしまうこともありました。しかし、子どもたちにとって正規教員、講師は関係ありません。現場で働く以上、我々は「先生」です。現場での経験から、教師の声かけや働きかけは子どもたちの人生を大きく左右する職業であることを肌身で感じることができました。約6年間の講師経験は自分を大きく成長させてくれました。また、改めて「先生」という立場の重みを実感するとともに「先生」としてのやりがいも強く感じるようになりました。これからは子どもたち一人一人のことを真剣に考え、教育への情熱と深い愛情をもち続ける「先生」として頑張ります。



## 2. 教員採用試験合格まで

計7回の教員採用試験を受験しました。ずっと1次試験すら突破することもできず、悩む時期がありました。しかし、講師5年目の終わりごろ、早く合格したいという強い気持ちが生まれ、強い覚悟と決心をもって、一度現場を離れました。「本気」で勉強する期間をつくるためです。このことを家族や周りの人たちが応援してくれて、大きな励みとなりました。そこでは自分と同じような境遇をもつ同志たちとの出会いもあり、切磋琢磨しながらお互いを高め合える貴重な期間でした。1日10時間の勉強を目標に自分と向き合いました。その期間で多くの弱点を見つけることができ、徹底して過去問や練習問題を解き続け、「合格」の2文字を目指して日々奮闘しました。努力の甲斐あって、その年に初めて1次試験に合格し、大きな自信となりました。しかし、2次試験の結果は不合格。この時、自分が教師として必要とされていないのでは、とかなり落ち込みました。しかし、自分を立ち直らせたのは子どもたちの笑顔や周りの人の支えでした。気持ちを切り替え、再び勤務しながら勉強を続け、平成31年度教員採用選考試験(北九州市中学「社会」)に合格することができました。最後まで諦めずに挑戦して本当によかったです。

## 3. 大切にしたい3つのこと

これからの教師生活で大切にしたいことが3つあります。①何事にも積極的にチャレンジする。(何でもやります! やってみます! の精神を。失敗を恐れない。その失敗は次の自分を成長させる。) ②「本気」の自分と真剣勝負する。(ただなんとなくするのではダメ。実現させたい、結果を残したいと感じたときこそ「本気」の自分と戦う。) ③たくさんの「ありがとう」など感謝の気持ちをもつ(どんな時、誰にでも感謝の気持ちをもつ。感謝する心を育めば、人生の深みが増す。) この3つは、今までの講師経験から学んだことです。たくさんのお出会いが自分を変えてくれました。これからも学び続ける教師として、また必要とされる教師になるために、この3つを常に意識し大切にしていきたいと思えます。

## 4. 教職課程履修のみなさんへ

私は別府大学の教職課程を履修し、たくさんのお仲間と学び、卒業できたことを誇りに感じています。今でも大学時代の思い出は一生の宝物です。ぜひ、みなさんも「今」を大切に大学生活を過ごしてください。後悔せず、自分のしたいことにチャレンジしてください。少しでも「学校の先生になりたい。」と考えている方、ぜひ、「先生」を目指してください。簡単に夢を諦めないでください。「本気」が道を開きます。全国の各学校で、子どもたちが「先生」を待っていますよ。どこかの学校で何かしらの形でみなさんにお会いし、働くことを楽しみにしています。これから教職の道を目指すみなさんのご活躍を願っています。